

かつお等に寄生するアニサキスによる漁業者等への影響を軽減する総合対策の実施

政策提言先 水産庁

政策提言の要旨

◎ 我が国の伝統的な魚の生食文化やかつお一本釣り漁業に代表される資源に優しい漁業を守るため、アニサキスによる影響を軽減する総合的な対策を講じていただきたい。

【政策提言の具体的内容】

- 1 平成30年11月19日付け生食発1119第3号「平成30年度食品、添加物等の年末一斉取締りの実施について」の別添実施要領において厚生労働省が示したアニサキスによる食中毒の発生に対する行政処分について、厚生労働省と連携して水産関係者等への周知をお願いします。
- 2 アニサキスに起因する刺身等の生食離れを防ぎ、さらなる魚食の普及、消費拡大を図るため、次の事項を提言します。
 - (1) アニサキスによる関係業界への影響調査と、それに基づく解決に向けた方策を検討するとともに、漁業者、漁業協同組合、流通・販売等の関係者が一丸となって取り組む態勢を構築すること
 - (2) アニサキスの寄生と漁場、時期、海況等との因果関係についての生態学的調査・研究に取り組むこと
 - (3) 流通段階等で活用可能なより精度の高いアニサキスの検出手法を研究開発すること
 - (4) 流通関係者や消費者等に対しアニサキスによる健康被害を防ぐ適切な処理方法等を引き続き情報発信すること
 - (5) アニサキスによる魚価の下落について補填する制度を創設すること

【政策提言の理由】

- ・ 本県のかつおの水揚げ量は、長期的に減少傾向にあり、平成26年以降は過去最低水準が続いています。こうした中、追い打ちをかけるように、昨年度は、全国各地でかつおからのアニサキスによる健康被害が頻発しました。
- ・ 「2019年版スーパーマーケット白書」（一般社団法人全国スーパーマーケット協会発行）によると、大手量販店等においてはかつおの生販売を控え、冷凍等に切り替える店舗が見られたとの報告があり、大手量販店等の取引量の減少に伴い魚価が低迷し、漁業者の所得にも影響が出ています。
- ・ 昨年、かつおへのアニサキス寄生が多かった原因として、「例年とは漁場が異なっていた」との情報もありますが、詳細な因果関係は明らかになっていません。
- ・ 県内量販店では自衛策として、市販の検出機を導入するなど独自の対策を行っていますが、抜本的な解決とはならず対応に苦慮されています。
- ・ 刺身などの生食文化や漁業者の所得を守り、アニサキスに対する流通関係者、消費者等の不安を払拭するため、国を挙げてアニサキスの生態に関する知見を深めるとともに正しい知識、処理の方法について情報発信を強化することが不可欠です。

【高知県担当課】水産振興部 水産流通課